

歴史民俗資料館の取組

東温市・生涯学習課文化振興係（東温市立歴史民俗資料館）

1 資料館の概要

東温市立歴史民俗資料館は、昭和60年に重信町立歴史民俗資料館として、重信町立図書館の3階に開館しました。開館以降は重信町域の民俗資料や考古資料、文書資料などの収集・調査・保存を行い、2つの展示室とロビーで企画展示を開催してきました。平成16年9月21日の東温市発足後は、旧川内町域も対象範囲とし現在に至っています。



現在の収蔵資料数は、民俗資料約5,000点、文書資料約10,000点、考古資料約400箱となっています。

平成31年度の組織改編により、同一施設の東温市立図書館と統合され「生涯学習課文化振興係」となりましたが、学芸員2名（正職員1名・嘱託職員1名）が中心となり企画展示や講座の運営を行っています。

2 資料館の取組

企画展示や東温史談会との共催事業となる「郷土史講座」、各学芸員が担当する「れきみん講座」等を開催し、地域の文化財に対する啓蒙活動を行っています。

(1) 企画展示

第1展示室	常設	東温市の歴史	弥生時代・中世以降を変更
	特別	東温市立歴史民俗資料館収蔵資料展	戦争資料を展示（終了）
第2展示室	企画①	昭和の衣食住	昭和の生活道具を展示（終了）
	企画②	うちわのごあいさつ	ノベルティーとして配られた団扇の展示（終了）
	企画③	昭和のライフスタイル	小学校副読本にある昔の道具を展示（公開中）
ロビー	企画①	稲わら細工	稲わらで作られた道具を展示（終了）
	企画②	おべんとうをたずさえて	春の行楽などに用いられた弁当箱を展示（終了）
	企画③	ふしめのごあいさつ	地元の引札を展示（終了）
	企画④	昭和の音とテクノロジー	テープレコーダーなど音響機器を展示（公開中）

(2) 「郷土史講座」年6回開催

月日	演題	講師
4月27日	甘樫丘の二つの大墓	奈良芸術短期大学教授
6月23日	子規と河之内近藤家について	東温市文化財保護審議会委員
8月25日	軽太子と軽太郎女の悲恋物語の謎	松山市立子規記念館館長
10月26日	山城を歩くーその見方と楽しみ方ー	東温市文化財保護審議会委員

1月26日	鍬ぞめと地祝い —民俗文化領域の基層を探る—	綾延神社宮司
2月22日	愛媛の昆虫食文化について	面河山岳博物館学芸員

(3)「れきみん講座」年8回開催

月 日	講 座	対 象
5月 4日 7月27日 8月25日	勾玉をつくってみよう ①～③ (滑石を削って勾玉を作成)	市内小学校の親子を対象
7月28日 8月 3日 8月 4日	蚊取り線香をつくってみよう ①～③ (除虫菊とタブ粉で蚊取り線香を作成)	市内小学校の親子を対象 ※H30 年度より
11月16日	稲わら細工体験 (稲わらで手帯を作成)	市内小学校の親子を対象 ※新規
12月 7日 12月14日	麦わら細工体験①・② (麦わらでホタルかごを作成)	市民を対象

(4) その他の取組

先述の講座の他に、歴史民俗資料館では市内小学校での出前講座（勾玉作成や民具体験等）、長期間の埋蔵文化財発掘調査がある場合は、発掘体験なども実施しております。また、昨年度から市内介護施設に昔の風景などの写真パネルの貸出しや、デジタルアーカイブによる検索システムを構築し、インターネットで収蔵資料の一部公開を始めました。



郷土史講座



れきみん講座で作成した勾玉

3 今後の課題

資料館の入館者数が減少傾向であることから、平成21年度より主催講座「れきみん講座」を立ち上げ、親子で「体験できる」文化財講座の開催を始めました。講座も開始以降10年が経過し、一部の講座では参加者が減少していましたが、昨年度より内容の見直しを行い新しい講座を追加したところ、参加申込者が増加しました。この他にも、介護施設などでの展示や案内を通じて社会福祉施設からの見学が増えればと考えています。

また、現在建築中の収蔵庫が今年度末に完成します。この収蔵庫には現在分散して保管している民俗資料や埋蔵文化財等を一括して収蔵する予定です。施設内には資料整理作業スペースも設けていることから、今後の資料整理の中心施設になると考えています。

今後は資料整理体験やバックヤードツアーなど、文化財がより身近に感じられるような企画を起こしていければと考えています。